

安曇野市土地利用審議会 会議概要

1	審議会名	第126回安曇野市土地利用審議会
2	日 時	令和5年5月25日(木) 午後1時20分から午後2時35分まで
3	会 場	安曇野市役所
4	出席委員	7名中6名(委員名簿非公開)
5	市側出席者	山田課長、由井係長、黒岩主査、城田主事(都市計画課) 高木課長、高山課長補佐(建築住宅課)
6	公開・非公開の別	非公開
7	非公開の理由	安曇野市附属機関等の設置及び運営に関する指針(平成27年安曇野市告示第334号)第7条第3号に該当するため
8	会議概要作成年月日	令和5年5月29日

1	会議の概要
(1)	開 会
(2)	あいさつ
(3)	報告事項
(4)	意見聴取
(5)	内容確認
(6)	その他
(7)	閉 会
2	議事概要
【1】	報告事項
○	第125回土地利用審議会議事録について
○	誤り等のないことを確認した。
【2】	意見聴取
○	案件①
○	資料説明(事務局)
○	温泉を汲み上げて溜めておく施設ということか。
→	温泉の汲み上げは行わない。配湯に際し、一時的にお湯を溜めておく貯湯槽の開発。
○	開発予定地では土砂崩れ等の危険はないのか。
→	山側との境界部分ではL型擁壁で土留めを行う等の安全対策が確認できる。 また、当該地は砂防指定地のため長野県と協議を行っている経過がある。安曇野建設事務所を確認したところ、砂防許可の見込みがあるとの回答を得ている。
○	敷地の全面をL型擁壁で囲んだ上でフェンスを設置する計画か。
→	そうである。
○	既存施設の老朽化に伴う移転ということだが、既存の施設は撤去されるのか。 また、配湯用のパイプラインの位置に変更はあるか。

→ 新施設の建築に伴い既存施設は撤去される。
新施設に隣接する赤線の下に送湯管と供給管が埋設されており、今回の開発に伴い小規模な布設替えを予定している。

○ 開発予定地は買収する予定か。

→ 所有権移転がされており、開発事業者の所有地となっている。

・案件②について
資料説明（事務局）

○ 以前は何の店舗だったのか。また、周辺が青地農地の中で、当該地が開発された経過は。

→ 現在空き店舗だが、以前は中古車販売店が営まれていた。

→ 開発予定地は長年宅地の土地である。また、当該地周辺は圃場整備事業が行われた経過があり、整備前から建物が存在していたのか、圃場整備に併せて非農用地が設定されたのか、どちらかだと推察される。

○ 緑地面積が小さいが、緑地としての役割を十分果たせるのか疑問。周辺が青地農地だからこそ、景観上も緑地の確保が必用だと思う。

→ 既存の駐車場部分は既にアスファルト舗装されているため、一部の未舗装部分で緑地が計画されている状況である。

周辺が青地農地という状況で、特定開発事業の認定指針には「緑地空間の確保」の記述もある。事業者には、周辺農地に隣接する箇所に、緑化等の配慮をするように指導する。

○ 事務局には、事業者へ緑地空間の確保等の指導を行っていただく。

・案件③について
資料説明（事務局）

○ 北側の水田との境界部分に1メートルを超える法面が施工される計画だが、耕作に影響を生じさせないように、開発事業者へ申し伝えてほしい。

→ 承知した。周辺農地へ影響が発生しないように施工するよう、開発事業者へ申し伝える。

○ 北側の農地の耕作の際、トラクターで起こされた土等が住宅地側に流出しないような対策が必要。

→ 計画ではL型擁壁の設置を予定しており、耕作等への対策が見受けられる。

○ 事務局には、事業者に周辺農地との関係に配慮して施工するように伝えていただく。

3 内容確認

4 その他

・次回審議会日程（事務局）

以上